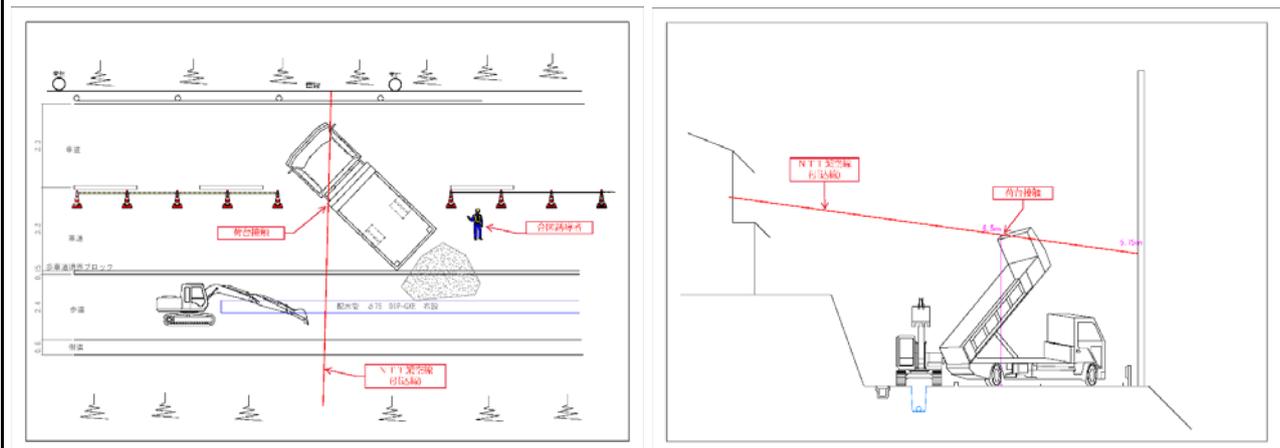


公共工事等事故情報

事故分類	物損公衆災害	発生日時	令和元年8月9日(金曜日)11時20分			工事関係者区分	一次下請
事故区分	架空線・信号等損傷	性別	—	年齢	—	業種区分	土木
被災程度	電話線(引込架空線)切断			事故レベル	I	休業見込日数	—
工事概要	水道管新設工事						
事故概要	・10tダンプトラックによる砂の荷降ろし作業後、ダンプトラックが荷台を上げたまま前進したため、荷台がNTT架空線(引込線)に接触し、切断した。						
事故原因	・ダンプトラックの運転手がNTT架空線(引込線)の存在を認識しておらず、また、合図誘導者がダンプトラックの荷台が架空線に接触することを予測したため、停止の合図を出したが、運転席の窓が閉めていたため、運転手がこれに気付かず、荷台を下ろさずに前進したため当該架空線を切断したものの。						
改善策	<ul style="list-style-type: none"> ・始業前の朝礼やKY活動の中で、現場周辺の状況を把握していない、資機材搬入者を含めた新規入場者に対しては、現場内の注意すべき箇所を伝え、また、作業員全員に対しては当日の工事区間内における工事用車両の動きのパターンと予想される危険及びその防止方法を周知徹底し作業を行うこととした。 ・合図誘導者の合図が確実に伝わるような誘導位置(立ち位置)の確認、運転手との合図の受け渡しが確実に出来るようあらかじめ確認方法を決めておくこととした。 						

事故状況図



改善状況図

安全対策会議



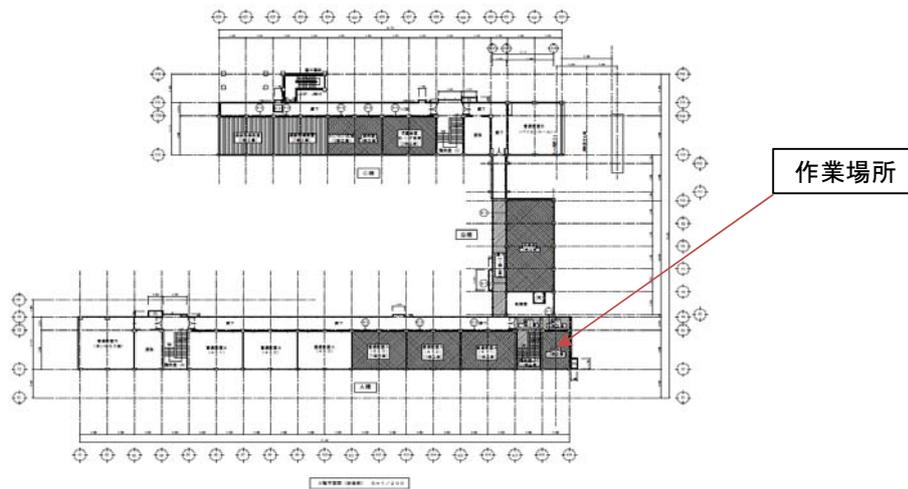
【安全対策会議内容】

- ・作業前に現場周辺の注意すべき箇所の確認を行う。
- ・資材搬入者を含めた新規入場者に対して、注意すべき箇所を確実に伝える。
- ・合図誘導者の合図が確実に伝わるような誘導場所の位置確認。
- ・運転手との合図の受け渡しが確実に出来るようあらかじめ確認方法を決めておく。
- ・工事用車両の動きのパターンと予想される危険及びその防止方法を周知徹底する。

公共工事等事故情報

事故分類	労働災害	発生日時	令和元年 8月17日(土曜日) 14時30分			工事関係者区分	二次下請
事故区分	熱中症	性別	男性	年齢	39	業種区分	建築
被災程度	熱中症			事故レベル	I	休業見込日数	3
工事概要	財政局アセットマネジメント推進部施設建設課						
事故概要	小学校校舎内部改造工事						
事故原因	当日の午後からの気温が高温で、狭い室内であったため、体力の消耗で体調を崩し、熱中症になったと思われる。						
改善策	工業用扇風機を作業場所に増設し現場代理人による現場作業部の巡回数を増やし作業員の健康状態を会話及び目視にて確認した。 熱中症への注意喚起を行った。						

事故状況図



改善状況図

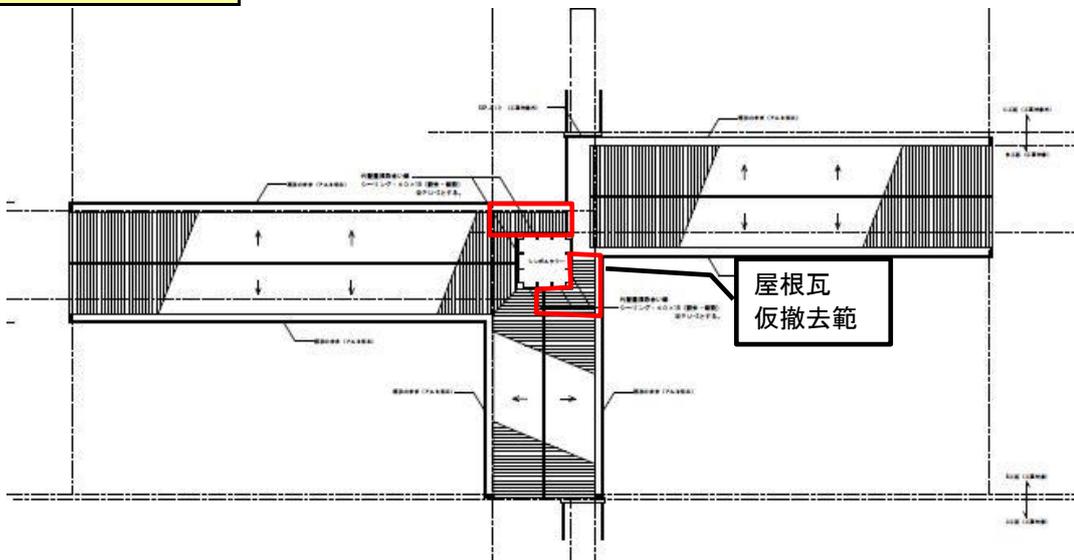


熱中症への注意喚起状況

公共工事等事故情報

事故分類	物損公衆災害	発生日時	令和 元年 8月26日(月曜日) 8時 40分			工事関係者区分	元請け
事故区分	その他の物損	性別	—	年齢	—	業種区分	建築
被災程度	3階及び2階廊下の天井, 床, 壁材への漏水			事故レベル	I	休業見込日数	無し
工事概要	外壁改修工事						
事故概要	B棟校舎、シンボルタワー改修用の足場を設置する為、その範囲の当たる部分の瓦の仮撤去を行った。その際、瓦下には防水層もあることから特に対策は講じなかった。25日夜からの降雨によりB棟シンボルタワー下の3階廊下に漏水した。(2ヶ所)そのうち1ヶ所がスラブクラックを通じて2階廊下まで漏水したものの。						
事故原因	瓦を撤去したことにより、瓦下の防水層を流れた雨水が、庇のシート防水立上りの取り合い部分から侵入したのではないかと考えられる。						
改善策	漏水確認後、速やかに瓦屋根仮撤去範囲をビニルシートで覆い、養生を行った。						

事故状況図



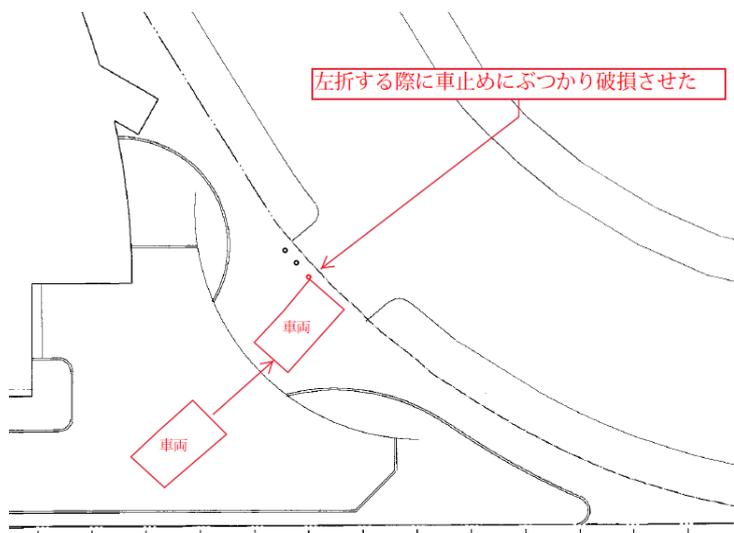
改善状況図



公共工事等事故情報

事故分類	物損公衆災害	発生日時	令和 元年 8月 24日(土曜日) 12時 00分			工事関係者区分	二次下請
事故区分	その他の物損	性別	—	年齢	—	業種区分	建築
被災程度	車止め用ポールを破損させた			事故レベル	I	休業見込日数	—
工事概要	えがお館内装改修工事						
事故概要	産廃搬出用のトラックが本件工事のために借用していた菰川ポンプ場駐車場から車道に出る際に歩道切り下げ部に設置されていた車止めポール1基に接触し、これを破損させた。						
事故原因	運転者が右側からの車両に注意が集中して車両左下側にあったポールへの注意が行き届かず、当該ポール(南側から3基目のポール)に接触し、この1基を破損させた。						
改善策	<ul style="list-style-type: none"> ・ 作業車両等の現場内への侵入・出車時において、誘導者を配置。 ・ 関係者全員に、安全な運転のためのルールを厳守するように周知 ・ 車止めポールの取り扱いについては、侵入、出車時において、全て下ろして通行するようにした。 						

事故状況図



改善状況図



誘導員配置状況



関係者への周知状況



ポールを全て下ろして通行

公共工事等事故情報

事故分類	労働災害	発生日時	令和元年 8月 30日(金曜日) 14時00分頃			工事関係者区分	三次下請
事故区分	転倒	性別	男性	年齢	19	業種区分	土木
被災程度	左下腿挫減創			事故レベル	I	休業見込日数	0日
工事概要	地下鉄七隈線延伸工事						
事故概要	型枠支保工組立作業中に部材を取りに行くため、型枠支保工内部を移動中、最下段水平つなぎ上の仮置きしていた足場板に足を掛けた際、足場板が天秤し、その前に仮置きしていた足場板に左足脛をぶつけた。						
事故原因	<ul style="list-style-type: none"> 仮置きした足場板がずれて落下する可能性があるのに不用意に足を掛けた。 足場板仮置きの方が不十分であった。 						
改善策	<ul style="list-style-type: none"> 仮置きした資材に足を掛けない。 型枠支保工および足場内部の水平つなぎ上に足場板を仮置きする場合は、番線もしくはゴムバンドにて固定する。 型枠支保工最下段の水平つなぎ上に足場板以外の資材を仮置きする場合は、資材仮置場を決め看板を4方向に掲示し、荷崩れしないよう整理して置く。 型枠支保工資材仮置き位置から型枠支保工組立・解体位置までの資材運搬経路は、マーキングテープ(黄色)で明示し、必ず選定した経路を通り資材を運搬する。 						

事故状況図



改善状況図

改善状況①	改善状況②	改善状況③
<p>足場板番線固定(2箇所)</p>	<p>「資材仮置場」の看板設置(4方向) 資材仮置場 資材の破損防止</p> <p>荷崩れしないように整理整頓</p>	<p>要所要所にマーキングテープ(黄色)で資材運搬経路を明示</p>